

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	吉 嶺 努 (自 民 党)	市長の政治姿勢について	(1) 2019 年度施政方針について ① 認定こども園の管理運営体制について伺う ② 人間力を高める人材育成について伺う ③ 地域の力が重なる安全安心のまちづくりについて伺う (2) 那覇市役所職員の労働安全衛生の向上について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 防災行政について	施政方針の中で「災害対策の指針となる那覇市地域防災計画の全面的な見直しを行う」とあるが、具体的な見直しの内容について伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 協働によるまちづくりについて	校区まちづくり協議会の取り組み状況について伺う
		3 保育行政について	待機児童解消の為の保育士の確保対策について伺う
		4 伝統工芸について	織物と染物を中心とした拠点施設の整備に向けた、「首里当蔵公社住宅跡地整備事業」の取り組みについて伺う
		5 ICT教育について	2020 年より小学校では、新学習指導要領が完全実施される。以下について伺う (1) ICT教育について「アクティブラーニング」と「プログラミング教育」の取り組みについて伺う (2) ICT支援員の導入について伺う
		6 体育館耐震化について	城東小学校体育館耐震化の取り組みについて伺う
		7 上下水道行政について	(1) 首里石嶺町四丁目地区の雨水調整池の整備について伺う (2) 整備後の上部の公園としての利活用について伺う (3) 汚水未普及地区の解消について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	仲 松 寛 (なは立志会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 公園整備について	(1) 漫湖公園遊歩道のゴムチップ舗装整備について 漫湖公園内の湖側歩道は、ランニングやウォーキング等で市民から人気のコースであるが、歩道に大きなヒビ割れや隆起及び陥没している箇所が多く見られ、日の暗い内の利用は危険であるとの指摘がある。このコースは漫湖公園、とよみ大橋、爬龍橋を經由する那覇地区中体連駅伝大会のコースでもあり、例年各中学校の代表選手が健脚を競い、記録に挑むコースでもある。このような事からゴムチップ舗装を強く望む市民の声があるが見解を伺う (2) 漫湖公園、くじら公園の奥武山公園への連結道路（歩道）整備による「那覇大公園構想（仮称）」について 那覇大橋は架け替え工事が進められている。漫湖公園、くじら公園、奥武山公園はいずれも漫湖の畔に面しており、水、緑、花の豊かな自然と魚、鳥等が息づく小動物の宝庫でもある。このようにすばらしい環境は市内でも稀な公園立地環境と言える。この３つの公園を繋ぐ歩道を県道の遮断なく整備することによって、漫湖全体の回遊が可能となり漫湖を中心とした公園散策等によって自然とのふれあいやランニング、ウォーキング等スポーツコースの拡充、３公園が連携した健康増進や観光イベントの開催等、安心、安全、かつモノレールの活用促進、駐車場連携等、利便性の高い機能を持つ大公園となることは必至である。その一環としても、３公園間を繋ぐ連結道路（歩道）を整備していくことが必要と思うが、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 龍柱周辺（公園）整備について アジアとのゲートウェイのシンボルとして、建設された龍柱は未だに知名度、理解度が十分ではない。龍柱会議による特産品の開発も進んでいるが、龍柱の物語性としての位置づけが未だに希薄である。よって、那覇市として龍柱を那覇市の何に活かしていくのか、明確な方針を改めて示す必要がある。また、現在の龍柱では観光スポットとしての認知度も低く景観的にも評価が芳しくない。市民、県民、観光客が訪れる場所としても整備が十分ではないとの指摘がある。よって、龍柱周辺の公園も含めて、更なる整備が必要だと思いが見解を伺う
		2 単身高齢者の入居支援について	(1) 高齢社会にある今日、民間賃貸住宅等への入居が困難な単身高齢者の入居を支援する活動が増えつつある。単身高齢者によっては、家賃滞納や重度な病気、孤独死等を貸す側が懸念しての厳しい環境となっている。この状況を踏まえ、入居後の見守りから葬儀や家財処分など、身寄りのない単身高齢者へのサービス提供を行う自治体も出始めている。単身高齢者の入居支援について那覇市はどのような対応を行っているのか伺う (2) 市営住宅における単身高齢者数と孤独死の状況について伺う
		3 公衆W i - F i の整備について	近年多発している災害発生時における防災拠点施設や避難所、医療機関等で不可欠な公衆W i - F i の整備が全国的に進められている。このような中で本県は整備率が全国ワーストとなっているが、那覇市の整備箇所及び整備率はどのようなになっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 子どもの貧困対策について 5 横断歩道橋と横断防止柵について	子どもの貧困対策は市長の施政方針でも述べた通り、重要な課題である。学力低下やいじめ、非行、不登校、児童虐待等、これらの問題も根底には子どもの貧困が大きな要因ではないかとの指摘もある。本市の子どもの貧困率はどれくらいか、また現在、子どもの貧困対策について、具体的にどのような対策を行い、どのような成果がでているのか伺う 歩行者の安心、安全を図るはずの与儀交差点の横断歩道橋が老朽化し、歩行者の安心、安全を脅かす存在となっている。また、高齢者や車いす等の障がいのある方にとっては、特に急勾配や階段の長い横断歩道橋は大きな困難を伴う公共物となっている。結果、老朽化した当該横断歩道橋の撤去について市民からの要望があるが、当局の見解を伺う また、那覇市道における横断防止柵も歩行者(特に子どもたち)の安心、安全を図るものであるが、老朽化など、目的を成さないものや景観的に見苦しい状況が見受けられる。当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 原 仙 子 (なはのみらい)	1 学校施設整備について	(1) 「那覇市学校施設等長寿命化計画(案)」について、概要と現状、今後の取り組みを伺う (2) 小禄小区児童クラブ活動拠点整備事業の概要について (3) 小禄小学校屋外倉庫等建設事業の概要について
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 玉陵について	世界文化遺産の一つでもある玉陵が、昨年 12 月 25 日、建造物として県内初の国宝に指定されたが、玉陵奉円館（資料館）について今後の取り組みを伺う
		3 中心商店街について	中心商店街における安全・安心なまちづくりという観点から、国際通りの歩道にはみ出す商品陳列や看板等が歩行者の安全、防災、さらには、まちの景観を損なうものとなっている。そこで、現状と対策について伺う
		4 中小企業支援について	平成 30 年度市内企業経営基盤強化事業について、その目的、実施状況、成果、今後の取り組みを伺う
		5 公園駐車場の管理について	森口公園の駐車場は常に公園利用者以外の車両で埋まり、実際に公園を利用する市民に支障を来している。現状を改善すべきであるが、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	多和田 栄子 (ニ ラ イ)	1 都市計画行政について	石嶺町は、モノレール石嶺駅の完成を目前に、交通広場整備が進められている。そこで、以下伺う (1) 城東城北線沿道地区及び石嶺駅周辺地区の用途地域の変更について伺う (2) 用途地域の変更後はどのような建物を建てることができるのか (3) 都市計画の変更手続きについて伺う
		2 学校におけるフッ化物洗口について	この件に関しては、平成 27 年 9 月定例会において質問している 当時の学校教育部長は、田端一正氏、現在の教育長である。フッ化物洗口については、「引き続き調査研究していきます」との答弁があり、また、市長は、今定例会の施政方針において、全小・中学校でフッ化物洗口の実施を推進していくとの事である。以下伺う (1) 天妃小学校がフッ化物洗口実施から 3 年経過している。どのような調査研究がされ、現在どのように進められているのか伺う (2) 平成 31 年度から 5 校予定していると聞く。現在の状況を伺う (3) 学校における集団予防接種は実施されていない。なぜ、フッ化物洗口だけ（賛否ある中で）時代に逆行するかのように実施されなければならないのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	上 原 安 夫 (日本共産党)	1 教育行政について	教職員の異常な長時間労働をなくすことについて (1) 教職員の勤務時間の正確な把握がＩＣカード導入でスタートした。過労死ライン月 80 時間を超える残業を行っている教職員数と割合について伺う (2) 健康障害リスクを伴う月 45 時間を超える残業を行っている教職員数と割合について伺う (3) 教職員の精神的な疾患を理由とした長期休業者数を伺う (4) 校務支援システムの導入について、概要と期待される効果について伺う (5) 教育施策として、部活等、学校業務削減の取り組みについて伺う (6) 教職員の健康管理のための体制と取り組みについて伺う
		2 交通行政について	L R T の導入実現に向け、今後の計画と課題について伺う
		3 福祉行政について	パーソナルサポートセンターの役割と実績について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 嶺 亮 二 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 福祉行政について 2 公共交通について 3 地域の安心、安全について 4 県民投票について	ヘルプマークについて以下伺う (1) ヘルプマークとは、こういったものなのか、また、ヘルプマークを取得するには、どこで、どのような手続きが必要なのか伺う (2) 那覇市がヘルプマークの導入を始めて、現在までの配布状況を伺う パレット久茂地前、那覇商業行きバス停において、花壇が設置されており、乗降スペースがかなり狭くなっている現状があります。利用客やバス会社から改善できないか相談があった。当局の今後の対応を伺う (1) 長田北公園（えんぴつ公園）に設置されている滑り台遊具が 1 年以上使用禁止になっているが、今後のリニューアル時期と費用額を伺う (2) 仲井真小学校前、歩道橋について以下伺う ① 現状の把握と前回 12 月定例会で質問した後の日常的な対応を伺う ② 修繕にかかる予算額と予算確保の用途を伺う 県民投票について以下伺う (1) 県民投票にかかる沖縄県全体の予算と、那覇市の予算を伺う (2) 県民投票にかかる広報費の額を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	翁 長 雄 治 (ニ ラ イ) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 健康行政について 2 観光行政について 3 入札執行率について	化学物質過敏症について本市の見解を伺う NAHA CITY FREE Wi-Fi について以下伺う (1) アクセスポイントの配置について伺う (2) アクセスポイントの移動について伺う 本市過去 3 カ年分の入札の執行率について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 就学援助について	入学前の子どもたちが、経済的な理由に関係なく、ランドセルや制服などを安心して準備し、学校生活を夢と希望をもって始められるように、新入学学用品費の入学前支給を求め、実施することが出来たことを高く評価する (1) 昨年度から行っている中学校の入学前支給の実施状況と効果について問う (2) 今年度初めて支給を開始した小学校入学準備金支給事業の実施状況と効果について問う
		2 こども行政について	(1) 子どもの居場所の実施状況と効果について問う (2) 夜の子どもの居場所とその効果について問う (3) 児童館の役割と取り組みを問う (4) 夜間保育、夜間学童など、夜間の子どもの居場所を増やすことが望まれている。また、その際には児童館などの活用も検討すべきである。見解を問う
		3 後期高齢者医療制度について	(1) 本市の後期高齢者医療の現状を問う (2) 短期証の発行と未更新について問う (3) 政府は、後期高齢者医療の保険料の特例軽減措置を廃止する。その内容と被保険者への影響を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 31 年 2 月 21 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 児童虐待防止に関する予算措置について 2 子どもの貧困対策について 3 市長の政治姿勢について	(1) 家庭児童相談をはじめ、福祉や子育て、家庭、女性、ひとり親世帯、青少年、教育など、児童虐待防止に関連する相談事業の体制強化・増員と、何より、関わる職員および臨時職員、非常勤職員の皆さんの給与・賃金・報酬の向上、正職員化など、あらゆる処遇向上策を那覇市独自でも実施すべく、市長及び企画財務部は特段の予算措置と仕組みづくりを実施すべきである。財政を踏まえた企画財務部の見解を問う (2) 児童虐待防止をさらに推進する新規事業を実施すべきである。次年度当初予算においては、どのような新規事業を予算計上するのか (1) いわゆる「子どもの居場所」や「放課後の居場所」がさらに充実した那覇市をつくるための施策を、これまで以上に推進すべきである。いわゆる「子どもの居場所」や「放課後の居場所」を今後どの程度つくっていくのか、どのように推進していくかにあたって、量的・質的なニーズ調査は十分であるのか、認識を問う (2) 子どもの貧困対策の一つとして、学校以外の場所におけるキャリア教育は有効であるか、市長部局と教育委員会の認識と見解をそれぞれ問う (1) なぜ城間市長は、米軍基地建設のための美しい海を埋め立てることに賛成なのか。「美しい海を埋め立てて米軍基地をつくらないでほしい」というウチナーンチュの思い、県民の思い、浦添市民の思いに、城間市長は「寄り添う」ことはしないのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 城間市長は平成 27 年に、普天間移設の現計画に反対を訴えて那覇市の予算を使って訪米し、また平成 28 年度施政方針において「辺野古に目を向けると」と述べ、那覇市政にも普天間基地問題を絡めはじめ、那覇市議会でもこの問題を取り上げざるを得ない状況になっている。このことから以下質問する 先般、辺野古区は、県民投票の実施に反対の決議を全会一致で可決しており「県民投票はやらないでほしい」という辺野古区民の民意や自己決定に対して、また、辺野古区は普天間の代替施設の受け入れを容認しているが、城間市長はこれらの民意に「寄り添う」ことはしないのか
		4 学校教員・職員のサポートについて	学校教員・職員の皆さんの処遇改善、向上を含め、あらゆる心身両面のサポートを推進すべきである。そのうえで、本市において教員や臨時教員は十分に足りているのか、見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長